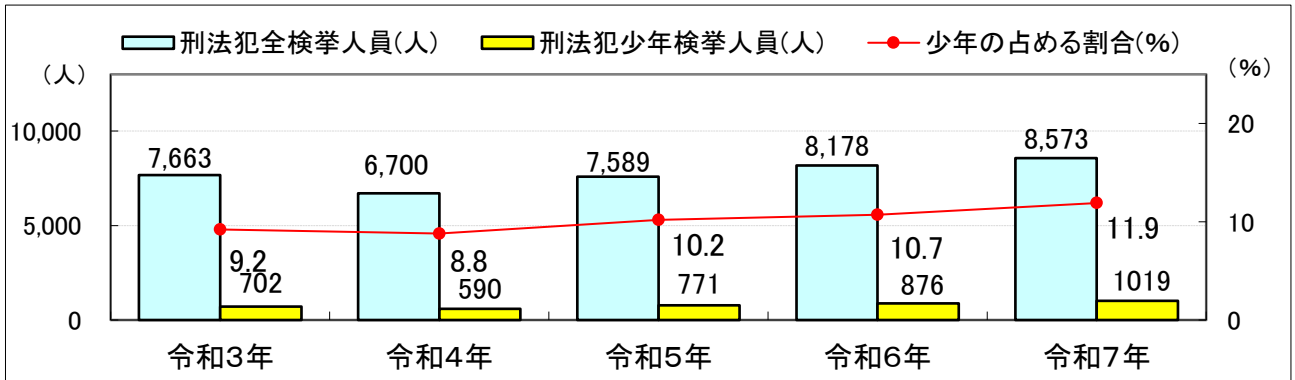


刑法犯少年の検挙状況

《刑法犯少年検挙人員の推移》



区分	年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
刑法犯全検挙人員(人)		7,663	6,700	7,589	8,178	8,573
刑法犯少年検挙人員(人)		702	590	771	876	1,019
刑法犯全検挙人員に占める少年の割合(%)		9.2	8.8	10.2	10.7	11.9
少年人口比(千葉県)		2.1	1.8	2.3	2.6	3.0
少年人口比(全国)		2.2	2.3	2.9	3.3	3.8

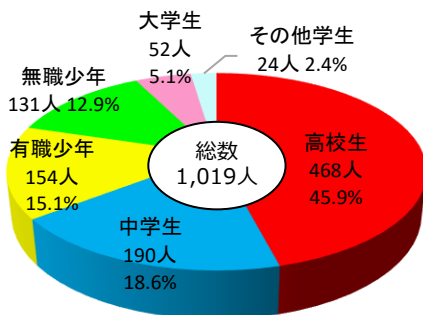
※ 少年人口比とは、少年（14歳以上20歳未満）人口1,000人当たりの刑法犯少年検挙人員をいう。

※ 少年人口比については、各年4月1日時点の登録人口となる。

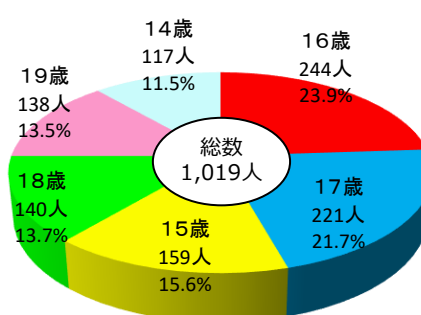
◆ 刑法犯少年検挙人員が増加

千葉県の刑法犯で検挙された少年は、令和7年は1,019人（前年比+143人）であり、令和5年以降増加に転じています。

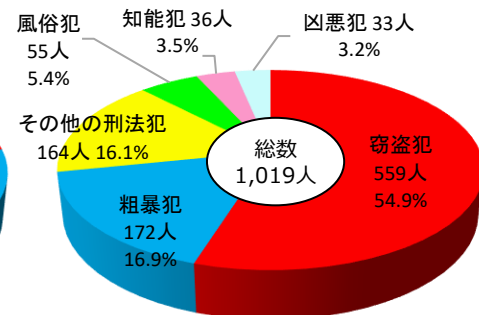
《学職別状況》



《年齢別状況》



《包括罪種別状況》



※ 包括罪種とは、刑法犯の罪種を凶悪犯（殺人、強盗、放火、不同意性交等）、粗暴犯（凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝）、窃盗犯、知能犯（詐欺、横領等）、風俗犯（賭博、わいせつ）及びその他の刑法犯（占有離脱物横領、住居侵入、器物損壊等）の6つに大別したものをいう。

※ 占有離脱物横領とは、占有者が遺失し、または盗難の被害を受け、その後放置されたものを横領することをいう。

※ 統計図表中の構成比等は、四捨五入してあるため総計が必ずしも100パーセントにならない場合がある（以下の統計図表も同様）。

◆ 学職別では高校生が最多

学職別では、高校生が468人と最も多く、全体の45.9%を占めています。

◆ 包括罪種別では窃盗犯が最多

包括罪種別では、窃盗犯が全体の54.9%を占める559人（前年比+114人）で、主なものは、万引きが304人（同+87人）、自転車盗が112人（同+16人）、オートバイ盗が42人（同-8人）です。